陳情第２号

ラピダス社排水の千歳川放流に対する市民不安の軽減を求めることについて

陳情者　　高橋　進
[redacted]

陳情内容　　別紙のとおり

上記陳情書の提出があったので付議する。

令和８年２月２４日提出

江別市議会議長　野　村　尚　志

2026年(令和8年)1月30日

江別市議会議長　野村　尚志　様

住　　所 [redacted]
氏　　名 高橋 進
電話番号 [redacted]

陳　情　書

ラピダス社排水の千歳川放流に対する市民不安の軽減を求めることについて

現在、千歳川表流水からつくられた水道水を江別市内の約40%の市民、企業等の従業員が生活水として利用しています。

「千歳川の下流には、何万人にも及ぶ人間がその水を飲用または利用している。」と認知しながら、国策先行でこの排水計画が決定されたことに対して、江別市民のひとりとして強い憤りと大きな不安を感じています。

この間、江別市議会でも北海道知事に対し意見書を提出するなど市民の不安軽減に向けて努力をされていますが、依然として十分な情報開示もなされないまま、なし崩し的に本格稼働がなされようとしています。

ラピダス社の排水問題は、将来を含めた江別市民の命と安全が守られるかどうかの問題です。半永久的に続くPFASの水質汚染リスクに対し、万一の事故に備えた下記ハード面の実現を陳情します。

記

1. 千歳川の取水が困難となった場合に備えて、石狩東部広域水道企業団（以下「石狩東部」という。）から受水している水道水を上江別浄水場貯留池へも配水し、平時はブレンドされた水道、緊急時には石狩東部の水道水を供給できるよう配水施設等の整備を早期に実現すること。

2. 送水の完全二重化を実現するため、石狩東部からの受水が困難となった場合に備えて、上江別浄水場から速やかに石狩東部エリアにも供給できるよう送水システムの改良を検討すること。

3. 札幌市水道局との「連携協力に関する基本協定」に基づき布設されている緊急時連絡管のエリア拡大・強化を検討すること。

4. 札幌市水道局の取組事例を参考に、江別市水道部独自で、千歳川・石狩東部受水のPFOS、PFOA等の水質検査を年4回実施し公表すること。